

---

# 真・三國志伝

リーダー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

真・三國志伝

### 【コード】

N8986H

### 【作者名】

リーダー

### 【あらすじ】

三国志や新撰組など戦いの物語の好きな男が三国志の舞台に転生するものごたり。

## プロローグ

ここに一人の青年がいた。

彼の名は沖田 総司で現在大学3年生である。

そう、あの新撰組一の剣士といわれた沖田総司と同姓同名である。

新撰組の彼と同じく剣術を愛し、それどころか

天然理心流や北辰一刀流をはじめ、新撰組の隊士たちの剣術・槍術を免許皆伝していた。

若くしてあの伝説の剣士を超えたと言われていたが、

大学入学前の不慮の事故により、失明をしてしまったのだ。

彼はそれ以来剣を握らなくなってしまった。

しかし、失明のおかげか音や空気の違いなどを学び、

足音で人数がわかったり、空気で相手の気持ちを讀んだり  
と失明の分を補っていた。

そんな日々を平凡にすごしていたとき、

どこからか子供の泣き声が聞こえてきた。

「ん？子供が泣いている！しかもここは道路があるから

もしその子が道路にいたら大変になるぞ！」

総司の予感は的中してしまった。

運よく車の通りがなかったが、道路でおそらく怪我をしている子供が泣いている。

「いたいよー！痛くて動けないよー！え〜ん！〜！」

目は見えないが、声のする方向や子供がジタバタする音でなんとか場所を掴み

子供を助けることに成功した。

しかし・・・

運悪くクラクションを鳴らしながら車が向かってくる。  
しかも、音からしてダンブカーのようだ。

暴れる子供を抱きながら、車から避けるのは難しかった。

「ふっ。」

彼はくすりと笑い、子供を自分のきた方向に投げた。

「いたーい！！なげたー！！いたーい！！」

子供の泣き声を確認した総司は己の人生の結末を悟った。

「短かったが、次に生まれ来るときは世界で一番の男になってやる。」

その言葉とともに、彼は車に飛ばされて意識を失った。

## プロローグ（後書き）

初めての作品になります。

プロローグでは主人公の説明をさせていただきました。

さて、これから異世界へといきますが日本の剣術は三国志で通用するのかが。

みなさん、温かい目で見てもらえたらありがたいです。

## 第1話：神との会話

気がつくと俺は雲の上にいた。

「やっぱり死んだか。。。」

俺が一言いうと、後ろから声がした。

「いやー、もつたいないのお。実にもつたいないのお？」

俺が振り向くと、白い服に木の杖を持った爺さんが立っている。

「まさか、神様とか言わないよな？w」

「ふおふおふお。ここまで話が早いのはお主が始めてだよ。」

うそだろ、おいおい。

神ってこんなあからさまなのか？w

「神様か。。。神が何の話だ？」

俺は早く天国に行って、次の人生を歩みたいんだが。」

「ふおふおふお。あせるな、小僧。」

「小僧っておい。」

「まあ、なんて呼んでもいいのではないか？」

もつお前は生まれ変わる事はないんだからのぉ。」

「ん!!!どういうことだ!じじい!!!」

「ふおおおお。いきなり失礼になったのぉ。」

いやのお、あの子の人生はあそこで終わりだったのだ。それを無理に引き伸ばされたからのぉ。」

「……そうか……」

あの子はどうなる??」

「あの子は寿命が5歳だったのを、お主が生きるはずだった86歳と交換しといた。」

めんどくさかったがのぉ。」

「そうか。ならいいぜ。」

あの子が生きてくれたら悔いはないしな。じゃあひとつお願いがある。」

「なんじゃ??」

「俺を地獄に落としてくれ。」

「???地獄じゃと?」

生き返らないとしても天国のほうが幸せに過ごせるぞ?」

「いや、生き返れないのなら地獄で暴れてやる。」

閻魔だか門番だがしらねえが、嫌なやつをすぎ放題倒せるしな。」

「ふおおおお。おもしろい。実に面白いのぉ。」

「頼む！」

「ふーむ。それもいいが、おぬしは三国志という物語は知ってるか？」

「ああ、好きで何どもよんでるよ。それがどうした？」

「おぬし、地獄を支配するつもりならまずはこの世界に行って国を統一してみんか？」

「W。漫画の世界だろ?? W。まあ、いったら俺が統一するぞ。」

「ふおふおふお。では三国志の世界に行ってもらおう。」

お主が転生する人間は姓を『龍』、名を『聖』という。字はお主の名の『総司』でよい。

歳は13だ。といってももうあっちでは大人扱いされるだろうかな。」

「そっか。でも転生ってことは俺が身につけた剣術や槍術、目が見えなかったおかげで鍛えた耳や気配も受け継げるのか？」

「それはサービスでつけてやる。あとは何かほしいかの？」

「そうだなあ。じゃあ、絶対に折れない棒で木刀みたいなのがいいな。」

人は殺せないだろうしな。殺す気もないし。」

「わかったぞ。最期に。」

あっちで死んだら魂は消えるからのお。ふおふおふお。」

「おい、そんなの聴いて・・・」

最期まで言うまでもなくおねはあの戦乱の世へ飛ばされた。

## 第1話：神との会話（後書き）

会話が多くなり、見にくくなってしまっていたら  
申し訳ありません。

次から三国志の舞台になります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8986h/>

---

真・三國志伝

2010年10月11日21時31分発行